

平成21年度 北陸地方整備局 第5回事業評価監視委員会 議事録

1. 日 時 平成22年3月9日（火） 13時30分～15時30分
2. 場 所 北陸地方整備局 4階 共用会議室
3. 出席者 委 員：玉井委員長、石黒委員、泉宮委員、永山委員、松本委員、丸山委員
- 北陸地整：局長、副局長、次長、企画部長、建政部長、河川部長、道路部長、港湾空港部長、営繕部長、用地部長他

4. 審 議

(1) 道路事業の事後評価

■今後の事後評価及び改善措置の必要性等について

以下の事業について審議した結果、次のとおりとなった。

○ 国道8号 三条拡幅

今後の事後評価及び改善処置、計画・調査のあり方、事業評価手法についての見直しの必要性なし。

○ 国道470号 高岡砺波道路

今後の事後評価及び改善処置、計画・調査のあり方、事業評価手法についての見直しの必要性なし。

■意見

○ 事業の効果については、より多くのデータの活用に努め、より客観的な資料とすること。

(2) 港湾事業の事後評価

■今後の事後評価及び改善措置の必要性等について

以下の事業について審議した結果、次のとおりとなった。

○ 新潟港東港地区多目的国際ターミナル整備事業

今後の事後評価及び改善処置、計画・調査のあり方、事業評価手法についての見直しの必要性なし。

■意見

○ 陸上輸送コストの削減を便益として算定する場合には、対象貨物の種類及び消費地を踏まえ、当該手法を採用した考え方を整理するべき。

○ 今後の事業評価を行う場合の便益計測の算出方法については、港湾整備に伴う地域経済に対する多様な効果等も便益として計測出来るように、評価手法の改善に取り組むべき。